

「時代の変化に対応できる持続可能な魅力あるまち」を目指した過去最大予算

令和3年度予算は、アフターコロナの新しい社会を見据え、市民に寄り添い、人とのつながりや自然豊かな本市の魅力をさらに発信し、「安心して住み続けることができるまち」を目指します。

特に、定住促進、安全安心なまちづくり、都市基盤の整備、産業の振興、保健・医療・福祉や教育の充実などに重点を置いた過去最大の予算としています。

令和3年度 当初予算の概要

問 財政課 財政係 (Tel.64-1553)

一般会計 歳出

【主なもの】

▼総務費
（仮称）総合市民センター建設費(23億8,789万円)などにより、前年度比61.7%増加しています。

▼民生費
保育園改築工事にかかる保育所等整備事業費補助金(1億9,007万円)などにより、2.3%増加しています。

▼農林水産業費
集出荷場建設に対する産地パワーアップ事業費補助金(3億3,082万円)、および園芸農業育成のための活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金(1億6,566万円)などにより、20.7%増加しています。

▼教育費
瀬高小学校体育館改修工事費(1億5,500万円)および統合小学校建設事業費(8,260万円)などにより、11.7%増加しています。

【主なもの】

▼公債費
バイオマスセンター建設事業分(8,963万円)や臨時財政対策債(2,897万円)の元金償還開始などにより、11.1%増加しています。

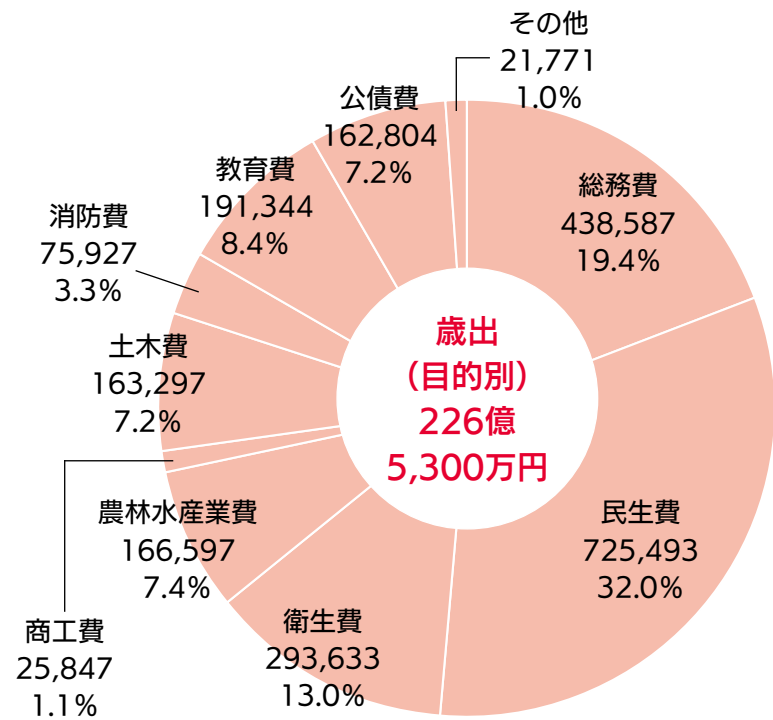
▼普通建設事業費
（仮称）総合市民センター建設費(23億8,789万円)や下庄雨水ポンプ場設備改修工事費(1億7,220万円)などにより67.4%増加しています。

▼物件費
新型コロナウイルスワクチン接種委託料(1億4,254万円)などにより、5.8%増加しています。

▼補助費等
柳川市と共同で実施している新ごみ処理施設建設にかかる有明生活環境施設組合への負担金(16億2,360万円)や、ふるさと納税の拡充を図るための、ふるさと納税報償費(9,000万円)などにより、29.3%増加しています。

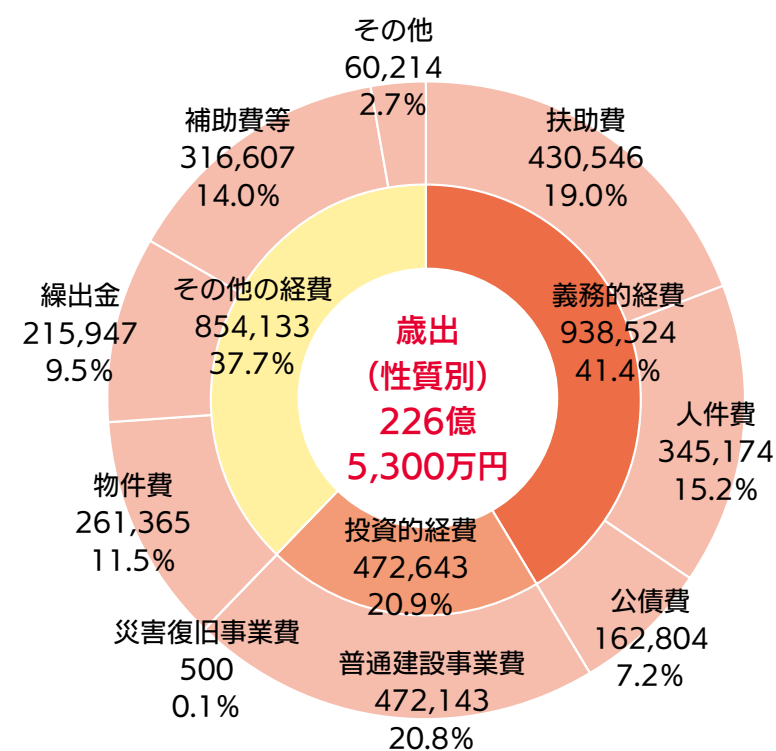
歳出(目的別)

目的別分類は、各事業の予算を行政目的別に区分したものです。



歳出(性質別)

性質別分類は、各事業の予算を経済的性質別に区分したものです。

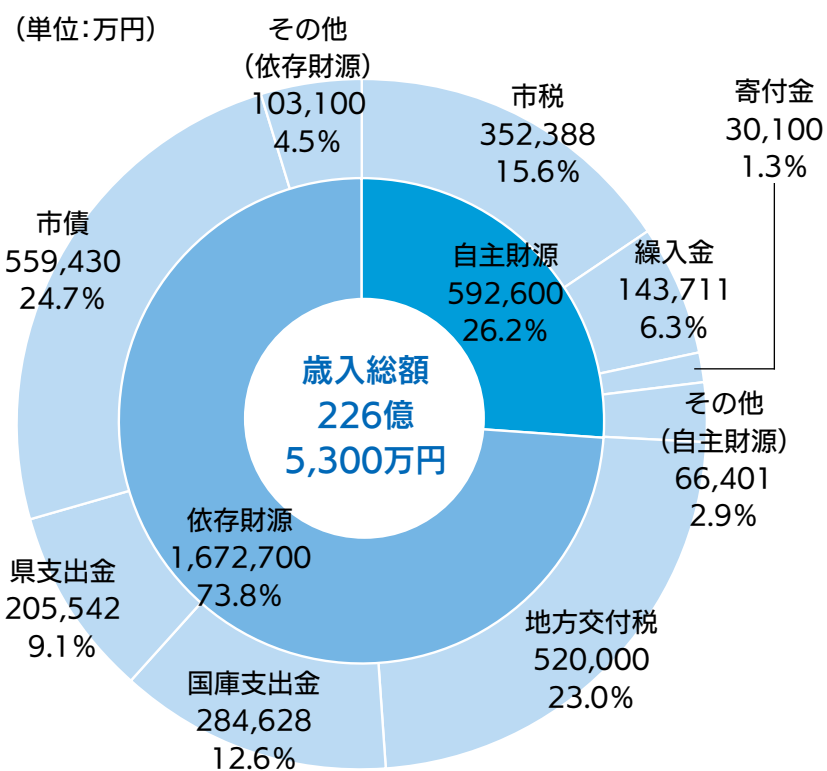


令和3年度当初予算

一般会計 226億5,300万円(対前年度比15.7%増)

一般会計 歳入

歳入の構成は、市債が一番大きな割合を占め、続いて地方交付税、市税となっています。自主財源の比率は、前年度に比べ5.8ポイント減となっており、地方交付税をはじめとした依存財源に頼らざるを得ない財政構造となっています。



【主なもの】

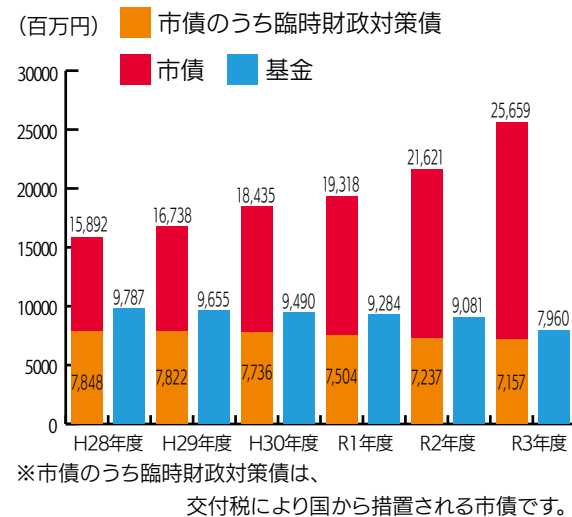
▼市税
新型コロナウイルス感染症などの影響により個人市民税および法人市民税は減となっています。また固定資産税も評価替えにより、土地・家屋分が減少する見込みとなっています。

▼地方交付税
普通交付税が合併算定替えにかかる特例期間の終了や国勢調査人口の置き換えにより減となる見込みです。

▼国庫支出金
新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(1億4,254万円)や保育園改築工事にかかる保育所等整備事業費交付金(1億3,068万円)により増加となる見込みです。

▼市債
地方交付税振替分の臨時財政対策債は前年度比69.5%増の5億9,000万円を見込んでいます。過疎対策事業費は、（仮称）総合市民センター建設事業債(17億6,450万円)新ごみ処理施設整備事業債(8億8,460万円)などにより前年度比120.2%増の47億2,840万円を計上しています。

一般会計市債残高と基金残高の推移



■市債
（仮称）総合市民センター建設事業や新ごみ処理施設整備事業などの市債が増加し、年度末の市債残高は、40億3,800万円増え、256億5,900万円となる見込みです。

■基金
年度末の基金残高は、合併算定替えの特例期間終了による普通交付税の減少の影響から本年度も減少傾向となっており、財政調整基金、ふるさとみやま応援基金を取り崩す予定のため、前年度より11億2,100万円減少し、79億6,000万円となる見込みです。

みやま市の財政状況は、大型建設事業に取り組む中において、借金である市債の増加に対し、貯金である基金が減少しています。また、みやま市の主要な財源である地方交付税については、合併による割り増し分が令和3年度よりなくなるため今後ますます効率的な行政運営が求められます。第3次行政改革大綱の着実な実行により、効果的・効率的な行財政運営を推進してまいります。